

**2016 年度
高齢者医療・在宅医療総合看護研修
募集要項**



2016 年 5 月 9 日



国立研究開発法人

国立長寿医療研究センター

National Center for Geriatrics and Gerontology

1. 高齢者医療・在宅医療総合看護研修について

わが国は長寿社会が実現し、今後さらなる高齢化の進展が予測されています。高齢者医療・在宅医療の臨床現場での看護師の役割は、ますます期待されています。

近年、老年医学・老年看護学など老年期に関連した専門領域では、健やかに老い安らかに逝くということを基盤に、高齢者のこころ・からだの特有の変化を把握することや、高齢者に相応しい医療とケアの提供に関するシステム整備、社会保障のための施策を探求し、研究成果や知見も増えてきています。本研修では、臨床実践の場で標準的に活用していく老年医学や老年看護の専門的知識、及び高齢者医療・在宅医療における近年の社会的動向とアップデートな話題について学び、理解が深まるよう開催しています。

受講していただく看護師みなさまの実践に役立つ研修を目指しております。多数の申し込みお待ちしております。

高齢者医療・在宅医療総合看護研修の目的・目標

<目的>

老年期を生きる人びとの心身の特徴や取り巻いている環境を包括的・全人的に理解し、医学的な根拠や看護の専門知識に基づいて、高齢者医療・在宅医療に対応する実践的な看護師を育成する。

<目標>

- 1) 老年期に現れやすい症候や機能障害について理解を深める。
- 2) 高齢者の健康問題の特定や全体像把握のためのアセスメント能力向上となる科学的根拠を習得する。
- 3) 高齢社会の動向や長寿社会のニーズを知り、高齢者にふさわしい医療とケアについて考えを深める。
- 4) 高齢者が人生を終える時期に必要なケアに関する知識や、近年の動向について習得する。
- 5) 高齢者の尊厳や人権を重視し、高い倫理性に基づく良質な医療とケアの実践について考えを深める。

2. 高齢者医療・在宅医療総合看護研修の開講講座

前頁の本研修の目的と目標に沿って、国立研究開発法人国立長寿医療研究センターでの臨床実践の特徴や研究活動を踏まえカリキュラムを作成しています。

2016年度 高齢者医療・在宅医療総合看護研修の開講講座と講座目標

講座名	講座目標
高齢者の医療とケア1 高齢者の医療とケア2 高齢者の医療とケア3	<ol style="list-style-type: none"> 1) 高齢者に特徴的な疾病・症候や、その予防・治療について理解する。 2) 高齢者を包括的に診る視点や、症状の観察、判断の要点について理解する。 3) 高齢者を全人的に捉え、ケアを提供するために必要な看護の専門知識について習得する。 4) 高齢者へのケアを実践・展開する上で主体性を尊重することや倫理的視点について理解する。
高齢者の在宅医療	<ol style="list-style-type: none"> 1) 高齢者の在宅医療に関わる施策や在宅医療推進、地域包括ケアについて理解する。 2) 高齢者の在宅医療の実際や多職種役割・活動について理解する。 3) 在宅療養中の高齢者に生じている諸問題と社会支援・制度について理解する。 4) 高齢者の退院支援や多職種との連携に関する具体的方策について考察する。
高齢者のフレイルと 予防ケア	<ol style="list-style-type: none"> 1) 高齢者の要介護状態の前駆段階にあるフレイルの概念に関して理解する。 2) フレイルに関連する病態や疾患、その治療について理解する。 3) 科学的根拠に基づくフレイルの予防にむけた生活行動や習慣について理解する。 4) 健やかな老いに通じるよう高齢者の生活を支える上での看護の役割について考察する。
高齢者の リハビリテーション	<ol style="list-style-type: none"> 1) 加齢によって生ずる心身機能の変化と特徴について理解する。 2) 高齢者の生活機能やADLの維持向上にむけたリハビリテーションの重要性を理解する。 3) 高齢者のリハビリテーションに関わるセラピストの役割や、実際の活動について理解する。 4) 高齢者の心身の状態や生活機能の維持向上に資する看護について考察する。
高齢者のEOLケア (エンドオブライフケア)	<ol style="list-style-type: none"> 1) エンドオブライフ期の医療とケアに関する諸問題や近年の動向を理解する。 2) 非がん疾患の終末期の苦痛を緩和する医療の実際について理解する。 3) 高齢者の人生及び価値観、文化にも配慮する医療とケアについて理解する。 4) エンドオブライフ・ケアにおける看護の役割や、チームアプローチについて考察する。
認知症高齢者の看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 認知症の病態・診断・予防～治療について理解する。 2) 認知症を有する人を中心とした理念に基づく対応やコミュニケーション方法を理解する。 3) BPSD・せん妄を呈する認知症高齢者のアセスメントの要点と援助について理解する。 4) 認知症を有する人の療養環境に対する倫理的視点と人的・物的環境の調整方法を理解する。 5) 認知症に関する近年の動向、施策について習得する。
認知症高齢者の看護・ 実習	<ol style="list-style-type: none"> 1) 身体合併症を有する認知症高齢者への医療とケアの実際を理解する。 2) その人中心のケアの理念に基づく病棟運営の実際を理解する。 3) 習得した知識・技術に基づき認知症高齢者に関わり、認知症ケアが実践できる。 4) 認知症ケア推進のためのチームアプローチ、組織的活動について理解する。 5) これまでの認知症高齢者との関わりを省察し、今後の自部署での認知症ケアの展望や目標を持てる。 <p>※2016年度及びこれまでに本研修における「認知症高齢者の看護」の講座を修了した者に限る ※ただし9月第1クールは、2012年度～2015年度修了者のみとする</p>

3. 各講座の講師・主な内容・時間割

講師は、主に国立長寿医療研究センターの病院及び研究所のスタッフが担当しています。開講講座の講座目標に照らして、実践的な知識が習得できるよう、臨床経験や専門知識が豊富な外部講師の講義もあります。

各講座の講義は、3日間の短期集中講義形式で開催し、90分1コマで行います。教育機関の単位制の数え方と統一させ1コマは2時間と換算しています。

高齢者の医療とケア1

2016.9.7(水)～9.9(金)

高齢者の医療とケア1 (16時間)		講師・講義テーマ (講義順)	
鳥羽 研二 (理事長)			高齢者の医療施策
勝見 章 (輸血管理室長)			高齢者の検査データの見方
吉田 正貴 (手術・集中治療部長)			高齢者の排尿障害
角 保徳 (歯科口腔先進医療開発センター長)			命を支える口腔ケア
伊藤 史朗 (摂食・嚥下障害看護認定看護師)			口から食べるということ
鈴木 葉子 (摂食・嚥下障害看護認定看護師)			認知症高齢者の摂食嚥下への対応
鷲見 幸彦 (副院長)			神経所見のとり方・高次脳機能の評価
伊藤 史朗・鈴木 葉子			事例検討

時限	講義時間	1日目 9月7日(水)	2日目 9月8日(木)	3日目 9月9日(金)
	9:00～10:30	10:00～10:25 開講式・オリエンテーション	—	鷲見(90) 神経所見のとり方 高次脳機能の評価
1	10:30～12:00 (10:40～12:10)	鳥羽(90) 高齢者の医療・施策	角(90) 命を支える口腔ケア	伊藤・鈴木(90) 事例検討
2	13:00～14:30	勝見(90) 高齢者の検査データ	伊藤(90) 口から食べるということ	12:10～12:35 アンケート・修了式
3	14:45～16:15	吉田(90) 高齢者の排尿障害	鈴木(90) 認知症高齢者の摂食・嚥下	
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	



欠席・欠課なく、
全講義を受講した方には、
最終日に修了証を授与いたします。



研修3日目は9:00開始です。
午前中2コマ講義時終了後、
修了証授与いたします。

高齢者の医療とケア2

2016.10.5(水)～10.7(金)

高齢者の医療とケア2 (16時間)		講師・講義テーマ (講義順)
原田 敦 (病院長)		ロコモティブシンドローム
遠藤 英俊 (長寿医療研修センター長)		高齢者生活機能評価 (CGA) について
杉浦 彩子 (耳鼻咽喉科医師)		高齢者の聴覚・平衡覚・嚥下機能
三浦 利奈 (精神療法部心理療法主任)		高齢者の心理
服部 英幸 (精神診療部長)		せん妄
清水 敦哉 (循環機能診療科医長)		高齢者に起こりやすい急変とその基礎疾患
溝神 文博 (薬剤部薬剤師)		高齢者の薬物療法
高道 香織 (老人看護専門看護師)		事例検討

時限	講義時間	1日目 10月 5日(水)	2日目 10月 6日(木)	3日目 10月 7日(金)
	9:00～10:30	10:00～10:20 オリエンテーション	—	溝神(90) 高齢者の薬物療法
1	10:30～12:00 (10:40～12:10)	原田(90) ロコモティブシンドローム	三浦(利)(90) 高齢者の心理	高道(90) 事例検討
2	13:00～14:30	遠藤(90) CGA	服部(90) せん妄	12:10～12:35 アンケート・修了式
3	14:45～16:15	杉浦(90) 高齢者の聴覚・平衡覚・嚥下	清水(90) 高齢者の急変・その基礎疾患	
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	

高齢者の医療とケア3

2016.10.19(水)～10.21(金)

高齢者の医療とケア3 (16時間)		講師・講義テーマ (講義順)
千田 一嘉 (臨床研究企画室長)		COPD・高齢者の肺炎
横山 剛志 (排尿機能検査士)		高齢者の排尿障害とケア
磯貝 善蔵 (皮膚科医長)		高齢者の皮膚疾患・褥瘡
前川 裕子 (感染管理認定看護師)		高齢者の感染症と看護
松浦 俊博 (消化機能診療部長)		高齢者の胃腸疾患と治療 (便秘を含む)
清水 敦哉 (循環機能診療科医長)		高齢者の循環器医療
平野 優 (診療看護師)		臨床推論について
高道 香織 (老人看護専門看護師)		高齢者の意思決定支援、事例検討

時限	講義時間	1日目 10月 19日(水)	2日目 10月 20日(木)	3日目 10月 21日(金)
	9:00～10:30	10:00～10:20 オリエンテーション	—	平野(90) 臨床推論について
1	10:30～12:00 (10:40～12:10)	千田(90) COPD・高齢者の肺炎	前川(90) 高齢者の感染症と看護	高道(90) 事例検討
2	13:00～14:30	横山(90) 高齢者の排尿障害とケア	松浦(90) 高齢者の胃腸疾患	12:10～12:35 アンケート・修了式
3	14:45～16:15	磯貝(90) 高齢者の皮膚疾患・褥瘡	清水(90) 高齢者の循環器治療	
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	

高齢者のフレイルと予防ケア

2016.10.26(水)～10.28(金)

高齢者のフレイルと予防ケア (16 時間)		講師・講義テーマ (講義順)
佐竹 昭介 (フレイル予防医学研究室長)	櫻井 孝 (もの忘れセンター長)	フレイル・サルコペニアについて
徳田 治彦 (臨床検査部長)	鈴木 隆雄 (理事長特任補佐)	認知症診断と治療
服部 英幸 (精神診療部長)	高梨 早苗 (老人看護専門看護師)	骨粗鬆症
高梨 早苗 (老人看護専門看護師)	志水 正明 (栄養管理室長)	エビデンスに基づく介護予防
高道 香織 (老人看護専門看護師)	高道 香織 (老人看護専門看護師)	高齢者のうつ
		高齢者の生活の支援
		高齢者の栄養評価
		事例検討

時限	講義時間	1 日目 10 月 26 日 (水)	2 日目 10 月 27 日 (木)	3 日目 10 月 28 日 (金)
	9:00～10:30	10:00～10:20 オリエンテーション	—	志水(90) 高齢者の栄養評価
1	10:30～12:00 (10:40～12:10)	佐竹(90) フレイル・サルコペニア	鈴木(90) エビデンスに基づく介護予防	高道(90) 事例検討
2	13:00～14:30	櫻井(90) 認知症診断と治療	服部(90) 高齢者のうつ	12:10～12:35 アンケート・修了式
3	14:45～16:15	徳田(90) 骨粗鬆症	高梨(90) 高齢者の生活の支援	
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	

高齢者の在宅医療

2016.10.31(月)～11.2(水)

高齢者の在宅医療 (16 時間)		講師・講義テーマ (講義順)
銘苅 尚子 (副地域医療連携室長)	太田 秀樹 (医療法人アスミス理事長)	退院支援の基礎知識
上地 小与里 (愛知県薬剤師会 地域医療部会)	大島 浩子 (長寿看護・介護研究室長)	在宅医療と地域連携
突田 和 (愛知県看護協会訪問看護認定看護師教育課程主任教員)	住江 浩美 (退院調整看護師)	訪問薬剤師の実践活動
住江 浩美 (退院調整看護師)	高見 雅代 (医療ソーシャルワーカー)	在宅の看取り
高見 雅代 (医療ソーシャルワーカー)	高道 香織 (老人看護専門看護師)	暮らしを支える看護
高道 香織 (老人看護専門看護師)		在宅医療管理技術
		高齢者医療・福祉制度
		事例検討

時限	講義時間	1 日目 10 月 31 日 (月)	2 日目 11 月 1 日 (火)	3 日目 11 月 2 日 (水)
	9:00～10:30	10:00～10:20 オリエンテーション	—	高見(90) 高齢者医療・福祉制度
1	10:30～12:00 (10:40～12:10)	銘苅(90) 退院支援の基礎知識	大島(90) 在宅の看取り	高道(90) 事例検討
2	13:00～14:30	太田(90) 在宅医療と地域連携	突田(90) 暮らしを支える看護	12:10～12:35 アンケート・修了式
3	14:45～16:15	上地(90) 訪問薬剤師の実践活動	住江(90) 在宅医療管理技術	
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	

高齢者のリハビリテーション

2016.11.16(水)～11.18(金)

高齢者のリハビリテーション (16 時間)		講師・講義テーマ (講義順)
荒井 秀典 (副院長)		フレイルについて
近藤 和泉 (機能回復診療部長)		高齢者のリハビリテーション総論
吉村 芳弘 (熊本リハビリテーション病院 リハビリテーション科 副部長)		特別講義 リハビリテーション栄養
伊藤 直樹 (副理学療法士長)		転倒予防とバランス
谷本 正智 (第二理学療法主任)		内部疾患のリハビリテーション
植田 郁恵 (第一作業療法主任)		認知症に対するリハビリテーション
原田 恵司 (言語聴覚主任)		嚥下障害に対するリハビリテーション
新美 千佳 (脳卒中リハビリテーション看護認定看護師)		脳卒中リハビリテーション看護
新美 千佳・高道 香織		事例検討

時限	講義時間	1 日目 11月 16日(水)	2 日目 11月 17日(木)	3 日目 11月 18日(金)
	9:00～10:30	10:00～10:20 オリエンテーション	—	新美(90) 脳卒中リハビリ看護
1	10:30～12:00 (10:40～12:10)	荒井(90) フレイルについて	伊藤(90) 転倒予防とバランス	新美・高道(90) 事例検討
2	13:00～14:30	近藤(90) 高齢者のリハビリ総論	谷本・植田(90) 内部疾患のリハビリ 認知症のリハビリ	12:10～12:35 アンケート・修了式
3	14:45～16:15	吉村(90) 特別講義 リハビリテーション栄養	原田(90) 嚥下障害リハビリ	
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	

昨年度の研修の様子



講義、演習、グループワーク
などを通じて学びます



各講座には、
テキストが
あります。

